

東京医療

東京医療生活協同組合の理念 「誠実」

東京医療生協職員の倫理綱領

1. 私たちは医療の質の向上に努め、人格教養を高めることによって、全人的医療を目指します。
2. 私たちは医療記録を適正に管理し、また知り得た内容を他にもりません。
3. 私たちは病める人々の権利の擁護とプライバシーの保護に努めます。
4. 私たちは病院医療にかかわるあらゆる安全管理に最大の努力を払います。
5. 私たちは地域の人々により良い医療を提供するために、他の機関との積極的な連携を推進します。

発行人 理事長 池澤 康郎 発行責任者 事務局長 森久保 豊
東京都中野区中央四丁目 59 番 16 号 TEL 03-3382-1231(代) 欄附 03-3382-9991

中野総合病院ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail: soumu@nakanosogo.or.jp

◆花粉症について

今年も本格的な“花粉症”の季節がやってきます。今回は、花粉症の対処法などについて中野総合病院耳鼻咽喉科主任医長石原明子先生にお話をお聞きました。ご参考にされ、憂鬱な花粉症シーズンを快適に過ごされたいかがでしょうか。



【アレルギー性鼻炎は増加しています】

近年、アレルギー性鼻炎患者は増加傾向にあります。2008年の調査では、日本国内のスギ花粉症有病率は、10年前の16.2%から26.5%へ増加しています。また、低年齢での発症も指摘されています。アレルギー性鼻炎には、遺伝的要素、環境因子などの複雑な因子が関わっていますが、最近の急激な増加には環境因子が大きく関与していると考えられます。アレルギー性鼻炎を引き起こす主な原因物質はハウスダストとスギ花粉ですが、花粉によるアレルギー性鼻炎は花粉症と呼ばれます。

【スギ花粉症の増加の原因】

スギは、戦後の国土復旧のための木材需要により、日本国内で盛んに植林されました。しかし、国内の林業が衰退し、1975年頃から新たな植林は行われなくなり、また成長したスギの伐採も行われないうえに、樹齢30-40年のスギが増えています。スギは樹齢30年以上で花粉を多く産生するため、最近の杉林から多量の花散が飛散するのです。同様の理由で、ヒノキ花粉の飛散も増えています。

【その他の花粉症原因植物】

スギ以外にも、ヒノキ科、イネ科、ブタクサ、ヨモギ、カナムグラなども花粉症を生じます。開花期は、スギは2月上旬-5月上旬、ヒノキ科は少し遅れて3月-5月、イネ科は4月-6月または8月中旬-11月、ブタクサは8月-10月、ヨモギは8月中旬-10月といわれていますが、観測地点の緯度や、その年の気象条件によって開花時期は変化します。花粉症の予防には、花粉との接触を避けることが大切です。花粉飛散量が多いときは、マスクや眼鏡で防御するのが有効です。



【花粉症の薬物治療】

花粉症の治療には、主に薬物療法が行われます。現在では、第2世代の抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、抗プロスタグランジンD₂・トロンボキササンA₂薬などの内服、ステロイドの鼻噴霧薬を組み合わせで治療されています。重症例には、短期間のみステロイド内服をすることもあります。また、眼の症状（かゆみなど）が強い場合は、点眼薬を使用します。なお、ステロイド注射は副作用が強いため、治療には用いられません。現在市販されているOTC製剤（医師の処方せんがなくても、薬局・薬店で購入できる一般用医薬品）の多くには第1世代の抗ヒスタミン薬が含まれていますが、これは医療機関で処方される第2世代の抗ヒスタミン薬よりも眠気や口渇の副作用が強く、また緑内障や前立腺肥大を悪化させることがありますので注意が必要です。



【花粉症の手術治療】

薬物治療の効果が得られない場合や、薬物投与が様々な理由で困難な場合に、鼻粘膜のレーザー治療、下鼻甲介粘膜切除などの手術が行われます。中野総合病院耳鼻咽喉科では、アルゴンプラズマ（レーザーではありません）による鼻粘膜焼灼術を行っております。

【花粉症の免疫療法】

特異的免疫療法（スギ花粉エキスの皮下注射）が一部の医療機関で行われています。治療効果が出るまで時間がかかり、また長期間通院する必要があること、頻度は少ないもののアナフィラキシーショックを生じる可能性があることから、日本国内ではあまり一般的ではありません。なお、現在欧米では花粉やダニアレルギー舌下免疫療法を既に行われています。日本国内ではまだ認可されておらず、現在研究が進められています。



◆マスクの自動販売機をご利用ください

前項の記事にもございますように花粉症の防御などにマスク装用が有効であるのは、ご存知のとおりです。中野総合病院では、

ご来院の方の利便性を考慮して、マスクが必要な時にいつでも入手できるように、正面玄関を入れて直ぐ右手(写真)と、西側通用口守衛室前の2箇所に「**マスク自動販売機**」を設置いたしております。販売価格は2枚一組で100円です。100円硬貨を硬貨投入口に入れていただき、ダイヤルを右に180°回していただくと、黄色い箱に入ったマスクが受け皿に出てきます。どうぞ、ご利用ください。



正面玄関内

2月の小児救急体制



中野総合病院では、中野区並びに中野区医師会のご協力を得て、小児の初期（1次）救急として「**準夜間小児初期救急医療**」を救急外来で実施しています。

一般診療所の診察時間が終わった後、お子さんが急病の際にはぜひご利用ください。15歳以下のお子さんを対象に、小児科医が診療を行います。※血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。

2月1日から29日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。変更もあり得ますので、この折はお許し下さい。

2月準夜間小児初期救急担当医

受付時間：毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間：毎日午後7時～午後10時

夜間受付：03-3382-9991

日	月	火	水	木	金	土
			1 由良 明彦	2 小須賀基通	3 木田 和宏	4 保崎 明
5 大林 菜穂	6 小須賀基通	7 高木 英行	8 四宮 雅子	9 小須賀基通	10 木田 和宏	11 木田 和宏
12 木田 和宏	13 小須賀基通	14 廣瀬 和恵	15 方山 栄哲	16 小須賀基通	17 清水 泰岳	18 清水 泰岳
19 清水 泰岳	20 小須賀基通	21 渡辺 仁	22 多田 光	23 小須賀基通	24 清水 泰岳	25 大林 菜穂
26 大林 菜穂	27 小須賀基通	28 中村 洋一	29 小池林太郎			

中野総合病院業務概況（平成23年12月）

	延患者数		手術件数		入院主要手術
	入院	外来	入院	外来	
内科	1,794	4,819	10	4	血管塞栓術（腹腔内）、内シャント設置術、中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置
精神神経科	0	880	0	0	
神経内科	826	921	3	0	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む）
小児科	0	474	0	0	
外科	1,267	1,211	95	13	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施：胸部・腹部の操作）、腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）、胃全摘術（悪性腫瘍手術）
整形外科	1,073	2,933	47	32	関節内骨折観血的手術（肩）、関節内骨折観血的手術（膝）、人工骨頭挿入術（股）
形成外科	38	401	7	43	頬骨骨折観血の整復術、皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）、全層植皮術（25cm ² 未満）
脳神経外科	281	411	2	3	水頭症手術（シャント手術）、慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術
皮膚科	58	1,688	1	22	皮膚切開術（長径10cm未満）
泌尿器科	230	739	9	2	腎（尿管）悪性腫瘍手術、前立腺悪性腫瘍手術、経尿道の前立腺手術
婦人科	74	507	11	8	腹腔鏡による子宮付属器腫瘍摘出術、子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術、腔式・腹式）、子宮全摘術
眼科	56	1,056	18	12	緑内障手術（濾過手術）、緑内障手術（流出路再建術）、水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）
耳鼻咽喉科	63	1,127	4	17	上顎洞篩骨洞根治手術、皮膚・皮下腫瘍摘出術（露出部）、鼓膜切開術
放射線科	0	12	0	0	
療養病棟	905	0	0	0	
合計	6,665	17,179	207	156	